

平成29年 4月

平成29年度研究助成に関する募集のお知らせ

一般財団法人 日本デジタル道路地図協会  
理事長 奥平 聖

一般財団法人日本デジタル道路地図協会は、昭和63年の設立以来28年に亘って、我が国の主要な道路を網羅した全国デジタル道路地図データベース(以下「DRMデータベース」という)を整備、更新、提供しております。DRMデータベースは、道路に関する計画、管理、利用情報の提供等の目的で道路行政のシステムにおいて用いられるとともに、カーナビゲーション等広く国民が利用する民間のシステムでも利用され、官民共通の社会基盤、いわばソフトインフラとして無くてはならないものになっています。

DRMデータベースの整備にあっては、世界に先駆けてデジタル道路地図に関する標準フォーマットを策定しました。さらに、その後の技術進歩を取りいれて、新たに「DRM21標準フォーマット」を開発するとともに、その成果を生かし、ISOによる国際標準化活動に積極的に参加し、この分野における我が国の貢献の一翼を担っております。

現在、道路交通の分野では、IT技術を駆使して道路利用の安全性・利便性の向上や環境負荷の低減等を目指すITS(高度道路交通システム)の開発が活発に行われ、その実用化が推進されております。そして、このITSの実現のために、正確なデジタル道路地図が不可欠であると認識されるようになって参りました。

このようなことから、当協会といたしましても、自らデジタル道路地図の収集、加工、提供、利活用等に関する調査、研究を一層推進するほか、平成18年度から大学等研究機関への助成制度を創設し、この分野の調査、研究の推進を図っているところであり、本年度は下記の研究課題に関して助成対象となる研究を募集することと致します。

記

1. 応募資格

国内の国公立大学、高等専門学校等に勤務又は従事する者

## 2. 研究課題

本年度は研究課題として次の2つの分野を設定いたします。

### I. DRM 特定分野

### II. デジタル道路地図に関連する一般分野

#### 2.1 DRM 特定分野

当協会が指定する特定テーマに関する研究として、本年度はいずれも自動運転等を含む次世代 ITS 技術に必要と言われている車線レベルの高精度な道路地図情報に関連するテーマとして、次の3つを設定いたします。

(I-1) 高精度道路地図の作成技術に係る研究

(I-2) 高精度道路地図の更新技術に係る研究

(I-3) 高精度道路地図への位置参照技術(位置特定技術)に係る研究

#### 2.2 デジタル道路地図に関連する一般分野

例年と同様、DRM が提供するデジタル道路地図に関連する以下の研究に対して助成いたします。

(II-1) デジタル道路地図関連の資料収集方法等に関する研究

(II-2) デジタル道路地図の作成等に関する研究

(II-3) デジタル道路地図の精度及び鮮度向上に関する研究

(II-4) デジタル道路地図及びシステムの高度化に関する研究

(II-5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

(II-6) その他、デジタル道路地図に関する研究

## 3. 研究期間

平成29年7月から平成30年3月末日まで

## 4. 助成金額及び件数

研究の遂行と研究成果の取りまとめに必要な経費として、各分野で次のとおり助成いたします。

(I) DRM 特定分野に関連する研究につき、数10万円から200万円を限度として助成いたします。なお、助成件数は1件を予定しています。

(II) デジタル道路地図に関連する一般分野の1研究につき、数10万円から100万円を限度として助成いたします。なお、助成件数は4件程度を予定しています。

なお、特定分野への応募研究は、テーマによっては一般分野として採択する場合があります。

## 5. 貸与品

必要に応じ、研究に使用するDRMデータベース(協会がパイロット事業で作成した高精度な道路地図情報を含む)等を貸与いたします。

## 6. 応募方法

- (1) 研究者は研究課題Ⅰ,Ⅱのいずれにも応募できますが、採択はいずれか一つとなります。
- (2) 別に定める研究助成申請書に必要事項を記入し、郵送にて下記の助成事務局(以下「事務局」という。)あてにお送りください。
- (3) 申請は、複数の研究者が関与する場合は代表者を定め、お1人で研究する場合は本人を代表者として、代表者名で申請していただきます。
- (4) 申請に際し、研究者の所属機関の内規による諸手続きや研究実施に必要な承認手続きが必要な場合は、代表者の責任において行っていただきます。
- (5) ファックスや電子メールでの受付は行いません。なお、提出いただいた申請書類は返却いたしません。

\*:研究助成申請書は以下ホームページよりダウンロードできます。

<http://www.drm.jp/research/system.html>

## 7. 応募書類送付先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13(ヒューリック平河町ビル5階)  
一般財団法人日本デジタル道路地図協会  
研究助成事務局 あて

## 8. 応募期間

平成29年4月10日(月)から平成29年5月19日(金)まで(必着)

なお、申請書類を受理後、事務局より代表者へ文書又は電子メールにて受理済の通知をお送りいたします。

申請書類を送付したにもかかわらず5月26日(金)を過ぎても受理通知が届かない場合は、電子メールにて事務局へお問い合わせください。

## 9. 選考方法

助成する研究は、当協会の審査委員会の審査により厳正に選考の上決定します。審査は、社会への貢献、学術的な意義、研究内容の計画性・具体性等に重点をおいて行います。

## 10. 選考結果

選考結果は、事務局より応募されたすべての代表者宛てに文書にて通知します。

なお、採否の理由についてのお問い合わせには応じかねます。

## 11. 研究助成金の支払い

採択された研究については、代表者の所属する機関が指定する方法でお支払いいたします。

## 12. 研究の遂行と報告書の提出

採択された研究は、提出した研究計画に則り、研究を遂行していただくとともに、別に定める所定の様式に基づき、研究報告書(含む中間報告)を研究助成事務局に提出していただきます。

### 13. スケジュール

選考： 平成29年6月中旬  
選考結果通知： 平成29年6月下旬  
中間報告： 平成29年11月末、平成30年2月末  
研究報告書提出： 平成30年4月下旬  
成果報告会： 平成30年6月中旬

### 14. その他

- (1) 申請内容についての秘密は厳守し研究者の個人情報の保護に努めます。ただし、審査の委員には審査のためにのみ必要な情報が開示されますことをご承知ください。
- (2) 採択された研究の代表者名、研究機関名、研究題目は当協会 Web サイトや機関誌等で公表されることをご承知ください。
- (3) 研究報告書は、当協会が作成する研究助成報告書様式にまとめて提出いただきます。また、研究報告書の著作権は研究者に属しますが、審査委員会の委員、当協会賛助会員及び協会関係者に開示され、会員専用 Web サイトからダウンロード可能なpdfファイルとして提供されることをご了解ください。
- (4) 研究成果は、当協会が別途開催する報告会において報告していただきます。また、研究報告会発表資料(MicroSoftパワーポイント資料)の著作権は研究者に属しますが、審査委員会の委員、当協会賛助会員及び協会関係者に開示され、会員専用 Web サイトからダウンロード可能なpdfファイルとして提供されることをご了解ください。
- (5) 研究により新たに発生した特許及び著作権は研究者に所属しますが、研究者が研究成果を公表するに当たっては公表文献等、資料を添付の上、当協会への報告をしていただきます。

\* 本件に関する電子メールでのお問い合わせは下記までお願いいたします。

研究助成事務局 yokoyama@drm.or.jp  
電話:03-3222-7990  
担当:研究開発部 横山

以上